
真実の太陽、渴望と沈む

嘩月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真実の太陽、渴望と沈む

【Nコード】

N1557R

【作者名】

嘩月

【あらすじ】

――
――
――
――
――
――

透き通る水の中へ注ぎ込む光に瞳を焼かれ、様々な真珠が空へ浮く。
緩やかな時と流れ見た朔日の夢達が真珠と共に弾ける――

……十二の月の初め、ソコにいただけと知り、咽び、針金状の霧が絡む。

辛辣に劈く感情符、逃げ出した先にもいた。
無数で無彩色な無惨和音の雑音。

鮮明に汚れてる薄い雲。

近いはずの空を隠し、拡げた両の手は雲を掴む。

生命の真実は何処へ向かう？

少しずつ遠くになっていき、掲げた両の手は宙で捻れた。

……十二の月の終り、望む事だけは忘れずに、けたたましく佇んでいた。

混乱に囀る感嘆符、飽きもせず吹き続けた。

不様で不安定な不協和音の口笛。

全ての残響が死ぬ頃に……。

透明で鮮やかに薄い青。

遠いはずの空を感じ、拡げた両の手は何を掴む？

短命で真実に近い晴間。

少しずつ瞼に包まれ、掲げた諒の手は闇へ消えた。

ずっと見ていた空は嘘で汚れ、太陽を隠していた。

今は青く透明なレンズで空を眺め、太陽を眺めている。

真珠達が帰ろうとものがき、弾けていく事とは裏腹に沈む。

——底、真実。

(後書き)

轉る↓(まをす)る

諒↓(りよう)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1557r/>

真実の太陽、渴望と沈む

2011年10月9日23時38分発行